



# WOWOW 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 WOWOW

上場取引所 東

コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務局長 (氏名) 山口 基貴

TEL 03-4330-8080

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・記者向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,337	3.2	1,297		1,111		773	
2022年3月期第1四半期	19,968	1.7	418		322		185	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 851百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 360百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	27.00	
2022年3月期第1四半期	6.86	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	94,723	66,088	69.8
2022年3月期	99,652	66,956	67.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 66,088百万円 2022年3月期 66,956百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 開局30周年記念配当 10円00銭

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,300	4.7	200	87.0	200	88.8	30	97.7	1.05
通期	76,500	4.0	2,300	56.3	2,500	53.3	1,600	62.3	55.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	28,844,400 株	2022年3月期	28,844,400 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	187,714 株	2022年3月期	187,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	28,656,686 株	2022年3月期1Q	27,038,002 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 販売の状況 .....	9
(2) 四半期個別業績情報 (参考) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が解除され、消費活動が徐々に正常化に向かう動きを見せました。しかしながら、米国の金利上昇による急激な円安進行やウクライナ危機の長期化による資源価格の高止まり、中国における感染再拡大の影響によるグローバルサプライチェーンの混乱により、景気の下振れ懸念が強まる等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の減少に伴い会員収入(注)が減少したこと等により、売上高は193億37百万円と前年同期に比べ6億31百万円(△3.2%)の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第1四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ減少したこと等により、営業利益は12億97百万円(前年同期は営業損失4億18百万円)、経常利益は11億11百万円(前年同期は経常損失は3億22百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億73百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億85百万円)となりました。

(注) 当第1四半期連結累計期間より当社グループの事業戦略と整合性をとることを目的に、従来「有料放送収入」としていた収益の名称を「会員収入」に変更しております。

各セグメントの状況は次のとおりです。

#### <メディア・コンテンツ>

累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は179億86百万円と前年同期に比べ6億32百万円(△3.4%)の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第1四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ減少したこと等により、セグメント利益は12億71百万円(前年同期はセグメント損失は6億17百万円)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第38期第1四半期	第39期第1四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	215,197	133,430	△81,767	△38.0%
解約件数	177,381	206,539	29,158	16.4%
正味加入件数	37,816	△73,109	△110,925	—
累計正味加入件数	2,829,287	2,607,302	△221,985	△7.8%
内) 複数契約(注)1	392,821	372,039	△20,782	△5.3%
内) 宿泊施設契約(注)2	75,485	78,384	2,899	3.8%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

#### <テレマーケティング>

グループ内部売上が減少したこと等により、売上高は23億26百万円と前年同期に比べ1億17百万円(△4.8%)の減収となり、セグメント利益は26百万円と前年同期に比べ1億73百万円(△86.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は947億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億28百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金、番組勘定が減少したことによるものです。

(負債)

負債は286億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億60百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金及びその他が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は660億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億67百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント上昇し、69.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,742	29,476
売掛金	6,422	5,560
商品及び製品	8	10
番組勘定	26,838	24,114
仕掛品	16	24
貯蔵品	50	49
その他	2,931	3,315
貸倒引当金	△67	△68
流動資産合計	66,942	62,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,641	4,559
機械及び装置（純額）	5,227	5,023
工具、器具及び備品（純額）	2,225	2,084
建設仮勘定	91	104
その他（純額）	34	31
有形固定資産合計	12,221	11,803
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	3,093	2,949
無形固定資産合計	8,105	7,960
投資その他の資産		
投資有価証券	9,088	9,122
繰延税金資産	2,213	2,318
その他	1,432	1,398
貸倒引当金	△351	△362
投資その他の資産合計	12,383	12,477
固定資産合計	32,710	32,241
資産合計	99,652	94,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,538	20,848
未払法人税等	380	387
賞与引当金	56	26
その他	6,590	5,221
流動負債合計	30,566	26,485
固定負債		
退職給付に係る負債	2,026	2,057
その他	103	93
固定負債合計	2,130	2,150
負債合計	32,696	28,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,240	3,240
利益剰余金	58,538	57,592
自己株式	△312	△312
株主資本合計	66,467	65,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345	372
繰延ヘッジ損益	111	162
退職給付に係る調整累計額	32	32
その他の包括利益累計額合計	489	567
純資産合計	66,956	66,088
負債純資産合計	99,652	94,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,968	19,337
売上原価	14,551	12,583
売上総利益	5,417	6,753
販売費及び一般管理費	5,835	5,456
営業利益又は営業損失(△)	△418	1,297
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	25	27
為替差益	20	—
持分法による投資利益	34	38
助成金収入	19	24
その他	12	3
営業外収益合計	125	97
営業外費用		
為替差損	—	260
その他	30	22
営業外費用合計	30	282
経常利益又は経常損失(△)	△322	1,111
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△323	1,111
法人税、住民税及び事業税	124	445
法人税等調整額	△262	△107
法人税等合計	△137	338
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185	773
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△185	773

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185	773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	27
繰延ヘッジ損益	△13	39
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	12
その他の包括利益合計	△174	78
四半期包括利益	△360	851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360	851

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,980	1,356	19,337	—	19,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	969	975	△975	—
計	17,986	2,326	20,312	△975	19,337
セグメント利益	1,271	26	1,297	—	1,297

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 販売の状況

当第1四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年同四半期増減率 (%)
メディア・コンテンツ	17,980	△3.4
テレマーケティング	1,356	0.1
合計	19,337	△3.2

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 「メディア・コンテンツ」セグメントには会員収入16,142百万円を含んでおります。

#### (2) 四半期個別業績情報 (参考)

##### ① 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益又は 営業損失 (△)		経常利益又は 経常損失 (△)		四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,829	△3.5	1,136	—	1,399	—	1,112	—
2022年3月期第1四半期	17,436	0.0	△783	—	△438	—	△180	—

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期第1四半期	85,913	58,471		
2022年3月期	90,243	59,012		

(注) 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

##### ② 2023年3月期の個別業績予想

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	33,300	△4.9	200	△82.1	130	△85.7	4.54
通期	66,700	△3.7	2,100	△51.8	1,400	△60.4	48.85

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。